

## EPOC2 の入力方法について

※各ローテーション終了後、なるべく一ヶ月以内に入力してください。

※『評価票』及び『経験症候/疾患の登録』については、指導医の承認を得て、経験済みとなります。指導医の承認がないと未履修となりますのでご注意ください。

※たすきがけ病院での経験も随時 EPOC にご入力願います。

### ①『評価票ⅠⅡⅢ』について

- ・評価票Ⅱの B-1～B-9 までの 9 項目は、総合レベルの評価以外に細項目（レベル 2～4）にて該当するものにはチェックをお願いします。  
※細項目は各項目（B-1～9）の横にある「？」または「▼」マークをクリックすれば表示されます。

### ②『経験症候/疾患の登録』について

- ・患者 ID は必ず登録してください。

患者 ID を暗号化した際のパスワードは、指導医へご自身で必ずお伝え願います。

- ・週間サマリーを必ず書き、電子カルテに登録したうえで、『病歴要約等を提出した』に必ずチェック☑をいれてください。

※2020 年度生より CPC 以外のレポートの提出は不要です

※2021 年 6 月までの入力については退院サマリーへの入力も可とします。

2021 年 7 月からは全て週間サマリーへの入力で統一してください。

- ・外科症例の手術要約に関しても、最低 1 症例、週間サマリーへ入力してください。

※『経験すべき疾病・病態』（★）の中の少なくとも 1 症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約を含める事がガイドラインで明示されています。

※手術要約：その症例への対応・手術に至った経緯・手術記録を含む術後サマリーを作成すること

#### （★）手術要約が必要となる『経験すべき疾病・病態（26 項目）』

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

※EPOC 登録の際には、該当する症例のメモ欄に『症例情報、サマリーへの登録日』の記入の上、『手術要約を提出した』にチェック☑をいれてください。

例) 『●●の外科症例に関する手術要約を○月○日のサマリーに登録済』等

※手術要約の記録状況を卒後センターで把握する為、手術要約を入力した分の EPOC 症例 ID と診療科について、必ずメールで報告願います。

報告先：[ibyou-soumu-kyoken@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ibyou-soumu-kyoken@office.osaka-u.ac.jp)

※1年目の病院で既に手術要約を作成し、指導医の承認がおりている場合は、

EPOC上での症例分か、EPOC症例IDを卒後センターにお知らせください。

※1年目の病院で該当症例の手術経験はあるけれど、サマリーに記載出来ていない場合、紙ベースのレポートの提出（1年目病院での指導医の承認（署名又は捺印）があるもの）をお願い致します。

#### 【手術の内容について】

- ・基本、外科系科及び救急で施行された手術を対象とします（小手術も含む）
- ・内科で行う内視鏡手術やカテーテル手術などは対象外です。  
病理検査での生検や精神科のmECTも対象外です。
- ・内科で担当した患者がその後外科手術を受けることとなった場合は、対象とします。  
《担当した内科でのローテ終了後に手術がなされた場合》  
その手術内容や、経過等を確認し、担当患者の診療記録上で手術要約を作成し、担当患者を受け持った診療科の指導医に手術要約の内容の承認を頂いてください。
- ・既存ローテで全く経験できそうにない場合、ローテ変更（追加で外科等研修）が必要になります。その場合は早めにご相談ください。
- ・要約作成を検討している手術について、該当するかご自身で判断が難しい場合は、担当のメンターにご相談願います。  
メンターの一覧表はセンター掲示板に掲示しておりますので、ご確認ください。

#### ③指導医の選択について

- ・ご自身のローテスケジュール上で登録されている各診療科の指導医を選択してください
- ・指導医が登録されていない場合は、指導医を選択せずに入力し、確定ボタンを押すことが可能ですが、その場合、指導医に評価依頼の通知は届きません。  
特に、【経験症候/疾病病態の記録】に関しては、指導医の選択がなされていないと、指導医が確認・承認することが出来ないため、下記の流れで評価依頼をして頂く必要があります。

## 【評価票ⅠⅡⅢ】

- i) 確定した評価を「指導医による評価票Ⅰ／Ⅱ／Ⅲの参照」で確認
- ii) 「指導医に評価を依頼」を選択して評価依頼

## 【経験症候/疾病病態の記録】

- i) 「研修記録の確認」選択
- ii) 「登録症例一覧」より対象の症例の欄の「研修医の確定取消」を押し、再度、担当指導医を選択して、評価依頼

## ④『一般外来研修』について

当院では、老年総合内科の外来診療又は、内科の外来診療、又は地域医療（離島含む）に参加し、EPOC内の『一般外来研修の実施記録』に入力してください。修了要件は20日以上です。

※老年・総合内科では希望すれば、2週以上の外来研修が可能です。

内科（老年・総合内科以外）での外来研修の可否については、その科の指導医に相談して下さい。総合診療科の外来へ参加を希望する場合は、ローテート中の内科の指導医と相談の上、2週間前までに総合診療科秘書の清水さん（hisyo@hp-gm.med.osaka-u.ac.jp）まで連絡し、日程を調整してください。

## ⑤『その他の研修活動の記録』について

たすきがけの研修で既に『履修済』、かつ、『修了要件としてみなす』と確認がとれている場合、EPOCに登録願います。以下、当院での修了要件です。

## i) 感染対策

本院内で開催される医療安全講習会のe-learningを受講し、EPOC内の『その他の研修活動の記録』に入力してください。

※年2回開催される分を随時ご案内しますので、必ず期限内に受講して下さい。

※阪大重点コース：2年間で計4回、協力型コース：2年目で計2回必ず受講が必要です

## ii) 予防医療

本院内で行われる感染症予防接種研修への参加し、EPOC内の『その他の研修活動の記録』に入力してください。（日時は感染制御部と調整後、随時ご案内致します。）

※2021年7月～10月に新型コロナワクチンの大学内接種の問診の一部を担当する業務も今回予防医療の履修要件として了承されましたので、EPOCに入力願います。

## iii) 虐待防止

本院の「児童虐待防止への取り組み」のe-learningを受講し、EPOC内の『その他の研修活動の記録』に入力してください。

受講完了後、画面より、「受講証明書」を出力し提出が必要です。

iv) 社会復帰支援

受け持ち患者の退院時の調整に参加し、EPOC内の『その他の研修活動の記録』に、登録。メモ欄には必ず当該作業をしたコメントを入力してください。

なお、受け持ち患者が退院する際、退院時ミーティングなどに参加し、退院療養計画書に担当医として記名してください。

v) 緩和ケア

本院内で開催される緩和ケア講習会を受講し、EPOC内の『その他の研修活動の記録』に入力してください。

※2020年度研修医で未履修の先生に関しては、

『日本緩和医療学会 教育セミナー』を受講し、修了証を卒後センターへ提出が必要です。

※2020年度研修医で、阪大以外で履修済みかつ、修了証を交付されている場合、修了証の提出が必要です。

vi) アドバンス・ケア・プランニング

説明会に参加後、症例発表会に参加し、EPOC内の『その他の研修活動の記録』に、入力してください。

当院で開催分に参加された場合、研修日のみEPOCにご入力ください。

(説明会への参加日程は入力不要です)

vii) CPC

CPCレポートもしくはCPC要約を提出した際、必ずEPOCにもご入力願います。

要約提出の場合は、CPCも2件分入力が必要です。

たすきがけ病院で経験又は受講されたCPCについても、必ず提出してください。

なお、たすきがけ病院でのCPCについては、臨床指導医と病理指導医両名の署名捺印が必要です。

※2020年度生の履修要件は、CPCレポート1件又はCPC要約2件です。

※2021年度生以降は、CPCレポート1件又はCPC要約3件となる可能性があります。